

總合政策部

秘書政策課		一般会計						
		款		項		目		
		02	総務費	01	総務管理費	13 企画費	62~63	
政策 5	将来を見すえた市政運営	事業名		総合計画推進事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
80,000	64,724	0		15,276	80.9%			
1 事業目的	第5次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画及び総合戦略に位置付けられた施策の推進を図る。							
2 事業内容	<p>■まち・ひと・しごと創生推進審議会 会議を2回開催し、総合戦略に関連し国から交付される地方創生関係交付金活用事業の実施状況等について審議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議 <ul style="list-style-type: none"> 1 開催日 平成28年8月4日 2 会場 市役所 3 対象交付金 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 (2) 地方創生加速化交付金 (3) 地方創生推進交付金 ・第2回会議 <ul style="list-style-type: none"> 1 開催日 平成29年3月23日 2 会場 市役所 3 対象交付金 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地方創生加速化交付金 (2) 地方創生推進交付金 							
3 成 果	■各種地方創生関係交付金を活用した事業については、その効果検証が必須となっている。検証により、交付金活用事業のあり方等について、今後の事業展開につなげることができた。							

(単位：円)

秘書政策課		一般会計									
		款		項		目					
		02	総務費	01	総務管理費	13	企画費				
政策 5	将来を見すえた市政運営	事業名		行政改革推進事業							
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率				
162,000	77,000	0		85,000		47.5%					
1 事業目的	平成28年度を初年度とする新たな行政改革推進計画の進行管理を行い、財政の健全化、組織のスリム化、職員意識の活性化に取り組む。										
2 事業内容	<p>■行政改革に関する諮問 市長から、行政改革実行プランの進捗確認及び必要な修正について、審議会に諮問を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成29年2月8日 ・会場 市役所 <p>■行政改革推進審議会 ・第1回会議 行政改革実行プランの進捗状況について審議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 開催日 平成29年2月8日 2 会場 市役所 <p>・第2回会議 行政改革実行プランのうち、計画どおりに進捗していない取組について、重点審議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 開催日 平成29年3月15日 2 会場 市役所 										
3 成 果	■審議会委員の意見交換により、次年度以降、特にスピード感を持って進めるべき取組を確認することができた。										

女性センター		一般会計						
		款		項		目		
		02	総務費	01	総務管理費	16	女性センター費	64～65
政策 2	活力に満ちたまち		事業名	女性活躍応援事業（繰越明許費分）				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
2,100,000	2,066,100	—		33,900	98.4%			
1 事業目的	地域女性を対象とした就労やキャリアアップの支援を行うことにより、女性の経済的自立及びネットワークづくりを推進するとともに、女性の活躍による地域経済の活性化を図る。							
2 事業内容	<p>■ 「地域企業就職面接会」 市内の事業所のうち、仕事と家庭の両立に理解のある企業に参加を絞り、主に結婚や出産を機に仕事から離れ再就職を希望する女性を対象とした面接会を、ハローワーク川越と共同で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成29年2月22日 ・会場 女性センター <p>■ 「女性起業応援カフェ@つるがしま」 地域の女性起業家や起業をめざす女性の情報交換とネットワークづくりを応援することを目的に、交流・情報交換会を開催した。先輩女性起業家の話し方ミニレッスンを交えた講演会のほか、金融機関による相談コーナーも設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成29年2月4日 ・会場 市民活動推進センター <p>■ 「女性のための起業体験セミナー」 地域の女性の経営能力の向上及び鶴ヶ島市内での活躍の場の拡大を図ることを目的に、商品の企画、販売、決算等のビジネス体験を通じて自分の興味や能力に気づくとともに、実践を通して起業や経営について学ぶ機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 計5回（連続セミナー） ・会場 女性センター、市役所 <p>■ 「女性がつくる鶴ヶ島ブランド」支援事業 女性が鶴ヶ島市をPRするブランドを創出し、地域での活躍の場を広げることを目的に、「女性がつくる鶴ヶ島ブランド」を募集した。書類や公開プレゼンテーション等により審査した結果、2件をブランドとして認定し商品化に向けた奨励金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査会開催回数 3回（書類審査、現物審査、プレゼンテーション） ・会場 女性センター、市民活動推進センター 							
3 成 果	<p>■ 「地域企業就職面接会」には、6事業所の参加と18名（女性17名、男性1名）の来場があり、うち7名が就職に至った。（就職率38.9%）</p> <p>■ 「女性起業応援カフェ@つるがしま」には23名の参加があり、起業女性の経営力アップとネットワークづくりにつながった。</p> <p>■ 「女性のための起業体験セミナー」には13名の参加があり、地域女性の起業の実現に向けた一歩となった。※参加者のうち4名が「女性がつくる鶴ヶ島ブランド」に応募した。</p> <p>■ 「女性がつくる鶴ヶ島ブランド」の募集に18件の応募があり、審査の結果2件をブランドに認定した。この事業は複数のメディアからも取り上げられ、本市の女性活躍施策を広くPRすることができた。</p>							

(単位：円)

市政情報課		一般会計									
		款		項		目					
		02	総務費	01	総務管理費	05	広報広聴費				
政策5	将来を見すえた市政運営	事業名		シティプロモーション推進事業							
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率		繰越除く執行率				
1,948,000	1,918,508	0		29,492	98.5%						
1 事業目的	定住人口の増加を視野に、“賑わいと自然が同居する鶴ヶ島”を対外的に発信し、鶴ヶ島の知名度向上を図る。										
2 事業内容	<p>■「雨乞い」を核にしたまちづくりの一環として、子育て環境や暮らしやすさに重点をおいたプロモーション動画の制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約1分40秒のパラパラ漫画を制作した。 ・市民にインタビューを行い、保育所での色塗りを含め編集した約7分40秒のロング編と約3分のショート編の動画を制作した。 ・フェイスブックを中心としたSNSでPRした。 ・ユーチューブや市ホームページに掲載した。 ・市役所ロビーで上映会を実施した。 ・制作にあたっては、市民参加の観点から市民アイデアを募り、67件のアイデアが集まったほか、6か所46組、123人の市民に市のいいところをインタビューして動画の制作に生かした。また、鶴ヶ島東部保育所の子どもたちが原画の色塗りに参加するなど、鶴ヶ島市の未来の担い手である子どもたちの参加も実施した。 										
3 成果	■プロモーション動画を制作した結果、平成29年全国広報コンクール埼玉県審査（映像部門）にて特選を受賞。また、市フェイスブックで6万4千回再生されたことなどを通じて、市内外に広く本市の魅力を発信することができた。										

市政情報課		一般会計									
		款		項		目	決算書貢				
		02	総務費	01	総務管理費	07	情報システム費				
政策5	将来を見すえた市政運営	事業名		行政システム管理事業（繰越明許費分）							
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率				
21,243,000	20,709,885	—		533,115		97.5%					
1 事業目的	個人番号制度の開始に伴い、自治体情報のセキュリティ対策強化のために必要な措置を講じる。										
2 事業内容	<p>■ 「個人番号利用事務系ネットワークの分離」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本年金機構における情報漏えい事案への対応として、総務省から示されたセキュリティ強化案に基づき、既存の総合行政ネットワークから、個人番号利用事務系ネットワークの物理分離を実施した。 										
3 成 果	■平成28年12月に個人番号利用事務系ネットワークの物理分離を実施し、行政情報セキュリティ強化を図ることができた。										

(単位：円)

市政情報課		一般会計									
		款		項		目	決算書頁				
		02	総務費	01	総務管理費	07	情報システム費				
政策5	将来を見すえた市政運営	事業名		番号制度導入推進事業（縦越明許費分）							
予算現額	支出済額	翌年度縦越額		不用額		執行率	縦越除く執行率				
16,212,000	10,808,400	—		5,403,600		66.7%					
1 事業目的	通知カード及び個人番号カードの交付等を円滑に行うことにより、社会保障・税番号制度の導入を推進し、市民サービスの向上と行政運営の効率化を図る。										
2 事業内容	<p>■「通知カード・個人番号カード関連事務」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知カード及び個人番号カードの作成、発送及びそれらに係る管理を実施した。 <p>■「認証業務関連事務」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「通知カード・個人番号カード関連事務」と併せて、署名用電子証明書及び利用者証明用電子証明書に係る事務を実施した。 										
3 成果	■新たに住民基本台帳に記載された市民へ通知カードを作成し、発送した。また、個人番号カードの交付を希望する市民から申請を受け、個人番号カード及び電子証明書を交付・発行することができた。										

資産管理課		一般会計				
		款	項	目	決算書頁	
		02	総務費	01	総務管理費	11
政策5	将来を見据えた市政運営	事業名		公共施設保安管理事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率	
6,822,000	6,744,600	0	77,400	98.9%		
1 事業目的	公共施設の状況を一元的に把握し、適正な施設機能の向上を図る。					
2 事業内容	<p>市内公共施設（学校等を除く）の自家用電気工作物及び消防設備の保守点検業務、建築物等の法定点検を資産管理課において執行した。 また、点検時には施設維持管理の観点から施設管理課の職員が立ち会い施設の状況等を確認、把握した。</p> <p>■消防設備保守点検業務 市内14施設の維持管理上必要な消防設備保守点検業務 ・機器点検 年2回 ・総合点検 年1回 ・その他維持管理に必要な保守点検</p> <p>■自家用電気工作物保安業務 市内12施設の自家用電気工作物の維持管理上必要な保安業務 ・月次点検 隔月 ・年次点検 年1回 ・その他維持管理に必要な臨時点検</p> <p>■高圧受電設備特別清掃業務 市内5施設の高圧受電設備（キュービクル）内の碍子類に付着したチリ・埃等の清掃業務</p> <p>■鶴ヶ島市公共施設高圧受電設備P C B混入調査業務 市内4施設の高圧受電設備のP C B混入調査業務 ・調査対象機器 トランス 7台 コンデンサー 1台</p>					
3 成 果	■公共施設の維持及び運営に必要な点検等を資産管理課において取りまとめて執行、集約することにより、一元的に施設の状況を把握し、効率的かつ効果的に公共施設の保全を行うことができた。					

(単位：円)

資産管理課		一般会計									
		款		項		目					
		02	総務費	01	総務管理費	11	財産管理費				
政策5	将来を見すえた市政運営	事業名		公共施設保全計画策定事業							
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率				
2,333,000	2,268,000	0		65,000		97.2%					
1 事業目的	<p>施設の劣化や設備の故障による市民サービス提供の停滞を回避し、施設を継続利用できる状況を確保することを目的としている。</p> <p>そして、『鶴ヶ島市公共施設等総合管理計画』の考え方を踏まえた上で、実施計画が策定されるまでの施設の保全策として、今後10年間で実施する改修工事等を検討し、計画として策定する。</p>										
2 事業内容	<p>鶴ヶ島市公共施設等総合管理計画を策定し、今後の施設種類ごとの基本的な考え方を示した。今後具体的な行動計画である「施設種類ごとの実施計画」を策定し、計画実行まで一定期間を要することから、既存の公共施設を利用しながら市民サービスを維持していくため、下記の施設保全の考え方に基づき施設の改修・修繕の実施計画の素案を委託業務によりまとめた。</p> <p>■工事内容の把握 効率的な工事を実施する上では、それぞれの施設がどの程度の改修等が必要であるかを確認する必要があるため、対象となる工事を抽出し、工事の全体像を把握した。</p> <p>■改修工事等の優先順位の算定 改修工事等についての優先順位の設定を行った。優先順位については市民サービス上の施設の重要度や保全方法による対象部位ごとの優先度、対象部位の劣化度を数値化し、総合的に客観的に判断できるようにして順位付けを行った。</p> <p>■実効性の確保 財政面とのバランスを考慮して10年間で実施する工事の割り振りを行った。財政面とのバランスでは、突出した支出を回避するため、工事費の平準化を考慮した。 また、国等の補助金や交付金等にて実施可能な工事については、積極的に活用し、早期の工事実施を図っていく。</p> <p>■社会情勢の変化等への対応 今後の計画の実施については、施設の劣化状況や社会情勢の変化、学校施設再編計画や総合管理計画の実施計画の策定状況により適宜見直しを行う。 また、政策上実施しなければならない改修工事等については、速やかに対応を図るため、実施時期についても考慮した。</p>										
3 成 果	<p>■施設の劣化や設備の故障による市民サービス提供の停滞を回避し、施設を継続利用できる状況を確保するため、今後10年間で実施する改修工事等を検討した保全計画の素案をまとめた。</p>										